

別中ありがとう

別所中学校学校通信
2023年度 NO.4
7月1日(土)発行

6月から7月、水との関りが深い季節

6月は水無月(みなづき)とも呼ばれます。暑さが厳しくなり、水が涸れて無くなる月という説や田んぼの水をはる月という意味の「水な月」だという説があります。別所地域の水田にも水がはられ、根をはりかけた稲が風にゆれる季節になってきました。この呼び方は旧暦の6月を指す言葉なので、現在の7月頃ということになります。学校でも水泳指導が始まったり、熱中症防止の水分補給に気を配るなど、水との関りが深くなる季節と言えます。



学校、家庭の生活では水道の蛇口を開けると、飲むことができる安全な水が出てくるのが当たり前です。トイレでも水を流し、清潔に保つことができます。しかし、世界の中で水道水を飲むことができるのは日本を含む12か国だけ、安全な水を飲むことができていない人は世界の4分の1といわれています。



また、安全に管理されたトイレを利用できるのは世界の半数以下というデータもあります。水道から出てくる水は、世界でもトップクラスにある日本の水道技術に支えられています。水との関わりが深い季節こそ、安全な水が当たり前の生活に感謝し、水を大切に使いましょう。

振り返りとともに、これからの自分をイメージする

1学期もあと3週間となりました。約3か月という期間でしたが、1年生は入学から、2・3年生は進級から大きく成長しています。修学旅行や校外学習といった学校行事だけでなく、日々の授業、学校生活における姿勢やメリハリのつけ方など細かな点からも成長を感じることができ、4月の姿が思い出せないほどです。

今学期を振り返ることは、できていないところを見つけるだけではありません。よかったところ、今後頑張ろうとする目標を整理し、自分がなりたい姿をイメージすることで、この成長が夏休み、さらには2学期に繋がります。

《保護者・地域の皆様へ》

裏面にも大会の様子を掲載しておりますが、今年度の三木市総合体育大会が開催されました。各会場では一つのプレーに集中し競技に挑む生徒たち、仲間の活躍を信じ応援する生徒たち、審判や記録などで大会を支える生徒たちを見ることができました。どの生徒も本当にいい「目」をし、競技と向き合っていました。保護者、地域の皆様からも応援とともに多大なご協力をいただき本当にありがとうございました。また、本日はオープンスクールと地区懇談会を実施させていただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。いただきましたご意見等を今後の教育活動にいかしてまいります。

学校長 坂田 直裕